

## 「人生と共に歩んだ更女会」

掛川地区更生保護女性会元会長 中山富美江

皆様、毎日を如何お過ごしでしょうか。

昔の記憶をたどり、今回の調査のお役に立ちたいと、思い出を綴ります。

昭和 51 年に、私は西郷婦人会に入会しました。当時は、それは即、西郷更生保護婦人会員ということでした。その後学区の見直しにより、原泉更生保護婦人会となり、新市掛川市となった今も、掛川地区更生保護女性会員として 42 年目になりました。

旧掛川市の各地区婦人会が集まり、連合婦人会が結成され、私はその中で、正副会長の下で役員として活動させて頂きました。先述のように、当時は更婦の役員も兼務だったのです。

その頃、旧掛川市・旧大東町・旧大須賀町が西小笠地区更生保護婦人会を組織していましたが、活動は 3 地区個々にしていました。それでも、役員になっていきますと、役員会や総会準備・総会開催は、1 市 2 町の役員が集合しますから、年度当番(\*1)の 2 町へも出かけていました。また当時は、保護司様との関わりが多く、会長・役員には女性保護司さんが多く就いておられました。会長の女性保護司様をリーダーに仰ぎ、まじめに会議を重ねました。旧大東町の役場にも幾度も行きましたし、大須賀町にも。大須賀での会議の後に、御衣黄という貴重な桜を観賞したことも思い出です。

しばらくして、「更婦は独立して」との事で、当時、保護司をされていた土方亀久世西小笠地区更婦会長の下で、副会長をされていた会員の三浦毅子様が、会長になりました。平成 7 年のこと。私は三浦毅子様の下で書記として更婦だよりを手書きで発行させて頂きました。少しでも解りやすく、しっかりした報告でなければと一生懸命、机に向かったことも良き思い出の一つです。

平成 17 年、掛川市は合併して 3 地区が一つになり、新たに掛川地区更生保護女性会として発足しました。私は平成 19 年度、20 年度に会長をさせて頂きました。気にかけてことは、市民はもとより、市役所や教育委員会、更に議会でも、保護司会のことは御存じでも、更女会をご存じない方が多いこと。この現状をどうしたらよいかと、学習センターでの催し物があった時に、一室をお借りして PR に努めたこともありましたが、市の区長会議に出席させて頂いて、2 度ほど説明に伺った事等も。理解して頂きたい一念でした。

また、19 年度には県更女連盟主催の西部ブロック研修会を、掛川市が当番でお受けすることになりました。生涯学習センターにお越しくださる更女会員の皆様に、どのような研修をして頂こうか、又どんなおもてなしでお迎えし楽しんで頂こうか、様々思案しました。行政の方々のご協力と、当時の更女地区役員のお力を頂き、ご来場の参加者にご満足を取ったのではと自負をしています。

平成 18 年 6 月から県更女が、「更女の茶」販売を始められ、当初はなかなか買って頂くことができず、主旨を説明し苦心したことがありましたが、現在では会員の皆様のご理解で定着していることは、大変有難いことです。

20 年度には、県の理事との御推薦を頂き、県主催の行事の司会等も務めさせて頂いたり、長野県佐久市に当時の村松保子会長他 3 名で、広域での更女活動の現状を勉強させて頂いたこともありましたが。

現会員の皆様と同じように、私も更女に入会して以来、少年の家の食事作りや、駿府学園での行事の際の生徒たちとの会話やふれあいの中で、青少年の心の奥底の純粋な気持ちを垣間見ることが出来ました。そして保護司様との交流の中で知り得たこと等、あれもこれも、自分の心の修養となる勉強をさせて頂いたと痛感しています。

平成 29 年、日本更生保護女性連盟会長の千葉景子様、県更女連盟 55 周年記念式典の折、「未来への遺産・私達が編む地域のチカラ」との演題でお話下さいましたが、本当に心に響くものでした。私達の掛川地区でも、会員の皆様と創る「地域のチカラ」が様々あります。

その一つに、平成 25 年度から掛川地区から始まった『青少年へ命の大切さを伝える「冠講座」\*2』があります。今では、県更女連盟の活動として取り上げられて、全県下へ広がっています。これも、素晴らしい未来への遺産の一つだと思います。保護観察所長吉川様も、県更女だよりに、期待の寄稿をされていました。

今後も、掛川地区更生保護女性会が保護司様と共に歩み、地域に貢献できる良き活動をして下さることを心から願います。

説明：

- (\*1) 掛川⇒大須賀⇒大東⇒掛川⇒と当番の地域が回り、2 年ずつ（合併後）会長を受け持っています。
- (\*2) 冠講座は、「更女会プレゼンツ ○○講座」ということです。講師料を更女会が拠出し、高校生に講座を提供するものです。掛川市は講師料を 5 万円以内で負担。県更女連盟も同じように希望する県下各地区からの要請で、講師料の全額もしくは一部を、地区に拠出されています。

平成 30 年 11 月吉日